

問 ドクターヘリの配備を

答 県に要望したい

岡崎 久和 議員

問 医師や看護師が搭乗して事故現場にかけ付け即座に治療に当たる救急救命システム、「空飛ぶ救命室」とも呼ばれている。へき地医療、災害医療、周産期医療、臓器移植医療などにも威力を発揮している。宍粟市も県ヘドクターヘリ配備を強力に働きかけるべきである。

市長 高次医療機関へ緊急に搬送する手段として最も威力を発揮するのはドクターヘリだと考える。宍粟市とし



兵庫県防災ヘリ (救急イメージ)

ても県等に要望してまいりたい。

問 後期高齢者医療制度が20年4月から実施されるが市の取り組み計画と準備はどのようになっているのか。

福祉部長 老人医療費が増大する中で、現役世代と高齢者世代の負担を明確にし、公平で解りやすい制度とするため75歳以上の高齢者対象に心身の特性や生活実態をふまえて広域連合でスタートする。

問 特別支援教育について福祉部長と教育長の取り組みと見解を伺う。

教育長 スクールアシスタントを含む3名を配置している。

福祉部長 障害の早期発見に努め、教育委員会と連携し取り組む。

問 増税、滞納が心配!

答 理解を得て対応していく

藤原 憲男 議員

問 今年から税制が変わり市民税が大幅な増額となる。各地で問い合わせや抗議が多発している。税申告時や市広報で説明しているが充分理解されていない面がある。市民税は市役所から直接納付通知を受ける為、市政への不満などもからみ滞納になる場合が多い。合併時には旧町間の滞納額の開きが大きく、一体感の醸成を阻害する要因にもなった。啓発・説明や収納・徴収体制は万全か。

総務部長 あらゆる機会を通じて説明している。現在150件程の問い合わせや苦情もあつた。増税感はあるが理解を得ていると思う。滞納整理マニュアル等に基づき、徴収強化月間等を設けて対応する。旧町分からの過去の市税滞納6億余円も含め検討を進めていく。

問 総合病院医師不足は県や機関への要望やお願いはあるのか。広域的な話し合いはあるのか。又病院の経営から職員の資質に至るまで、市民の厳しい意見もある。信頼回復に努めるべきだ。

市長 民間では対応が困難な医療問題も多い。地域の中核病院として最大限の努力を払い、信頼を回復したい。



山崎市民局内税務課